

2018年10月10日

各 位

会 社 名 マックスバリュ西日本株式会社
代表者名 代表取締役社長 加栗 章男
(コード:8287、東証第二部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 守岡 幸三
(電話番号 082-535-8494)

会 社 名 株式会社マルナカ
代表者名 代表取締役社長 平尾 健一
問合せ先 常務取締役管理本部長 天廣 俊彦
(電話番号 087-886-8686)

会 社 名 株式会社山陽マルナカ
代表者名 代表取締役社長 宮宇地 剛
問合せ先 取締役経営管理本部長 伊渡村 直樹
(電話番号 086-265-1111)

会 社 名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード:8267、東証第一部)
問合せ先 執行役環境・社会貢献・PR・IR 担当 三宅 香
(電話番号 043-212-6042)

マックスバリュ西日本株式会社、株式会社マルナカ及び株式会社山陽マルナカの 経営統合（株式交換）に向けた基本合意書締結に関するお知らせ

マックスバリュ西日本株式会社（以下「MV西日本」といいます）、株式会社マルナカ（以下「マルナカ」といいます）及び株式会社山陽マルナカ（以下「山陽マルナカ」といいます）は本日開催の取締役会決議に基づき、イオン株式会社（以下「イオン」といいます）は代表執行役の決定に基づき、MV西日本、マルナカ及び山陽マルナカの経営統合（以下「本経営統合」といいます）に関する基本合意書（以下「本基本合意書」といいます）を締結いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 本経営統合の目的

イオングループでは、2017年12月に、2020年に向けての中期経営方針において、「リージョナルシフト」「デジタルシフト」「アジアシフト」及びそれらに連動する「投資のシフト」の4つをグループの変革の方向性として掲げており、事業を展開するそれぞれの地域・領域でNO.1の集合体を目指しています。

その実現に向けて、スーパーマーケット（以下「SM」といいます）事業においては、ドラッグストア

やコンビニエンスストア、Eコマースなど競争のボーダレス化による競合環境の激化、人口動態やお客さまの生活スタイルの変化、健康志向、低価格志向、即食需要の増加など嗜好の変化等に対応するために、地域ごとに一定以上の規模を有する企業体となり、地域商品の開発、物流、デジタル化への投資を強化し、お客さまへの便利さを提供し続け、最も地域に貢献する企業に成長する必要があります。

このような中、MV西日本の親会社であり、マルナカ及び山陽マルナカの完全親会社であるイオンは当該中期経営方針において、SM改革の今後の方向性を示しました。

これを踏まえ、中四国エリアでSM事業を運営するMV西日本、マルナカ及び山陽マルナカは、「地域密着型経営」の実践による中四国エリアにおける市場シェアNO.1のリージョナルSM企業の実現を目指し、本経営統合により相互の経営資源及びノウハウの共有化、とりわけ、マルナカの生鮮商品力を最大限に活かした生鮮強化型スーパーマーケットを確立してまいります。また、主要拠点へのプロセスセンターの配置と物流改革による収益力を拡大させるとともに、下記のエリア戦略に基づく販売チャネル拡大による競争力強化、システムプラットフォームの統廃合や本社機能の集約整理によるオペレーションコストの効率化により、経営基盤を強固なものとし、継続して成長し続ける企業を目指します。

- ① 兵庫県西部・岡山市・広島市・山口県西部・香川県への積極出店によるドミナントエリア強化
- ② 広島県東部・愛媛県の空白エリアへの出店によるシェア拡大
- ③ 徳島県西部の買い物困難エリアへの移動販売事業やネットスーパーをはじめとするノンストア事業の確立

2. 本経営統合の要旨

(1) 本経営統合の方式

MV西日本を株式交換完全親会社、マルナカ及び山陽マルナカを株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます）を行う方法により統合する基本方針のもと本経営統合を進める予定です。また、経営資源を中国、四国地方、及び西播、東播地区へ集中することによる、経営効率の最適化と、さらなる地域密着経営の推進を目的とし、本株式交換に先立ち、山陽マルナカの近畿エリア店舗（14店舗）のイオン100%子会社である株式会社ダイエーへの譲渡、及びMV西日本の近畿エリア店舗（8店舗）のイオン100%子会社である株式会社光洋への譲渡（以下、併せて「近畿店舗譲渡」といいます。詳細は別紙をご参照ください。）を実施する予定です。

本経営統合後、MV西日本を吸収合併存続会社、マルナカ及び山陽マルナカを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本吸収合併」といいます）を行うことを視野に入れて、当事者にて協議・検討を行う予定です。

(2) 本経営統合の日程

本基本合意書締結日	2018年10月10日
本株式交換に関する契約締結日	2018年12月中旬（予定）
臨時株主総会における本株式交換契約承認決議	2019年2月頃（予定）
近畿店舗譲渡の効力発生日	2019年3月1日（予定）
本株式交換の効力発生日	2019年3月1日（予定）

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

本株式交換における株式交換比率は、今後実施するデュー・ディリジェンスの結果及び第三者算定機関による株式交換比率算定の結果等を踏まえて、本株式交換に関する最終契約締結までに決定いたします。

3. 本経営統合の当事会社の概要

(1) 会社概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社	株式交換完全子会社
名 称	マックスバリュ西日本株式会社	株式会社マルナカ	株式会社山陽マルナカ
所 在 地	広島県広島市南区段原南一丁目3番52号	香川県高松市円座町1001番地	岡山県岡山市南区平福一丁目305番地の2
代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 加栗 章男	代表取締役社長 平尾 健一	代表取締役社長 宮宇地 剛
事 業 内 容	食料品及び日用雑貨用品の小売販売	スーパーマーケット事業	スーパーマーケット事業
資 本 金	1,701百万円 (2018年5月31日現在)	100百万円	25百万円
設 立 年 月 日	1982年3月5日	1952年3月31日	1953年6月1日
発 行 済 株 式 数	26,259,709株 (2018年5月31日現在)	200,000株	50,000株
決 算 期	2月末	2月末	2月末
従 業 員 数	1,716名(連結)	2,676名(単体)	1,275名(単体)
主 要 取 引 先	イオンフードサプライ株式会社 三菱食品株式会社 森永乳業株式会社 株式会社明治 コカ・コーラカスタマーマーケティング株式会社	イオントップバリュ株式会社、 株式会社あらた 旭食品株式会社 中商事株式会社 日本ハム株式会社	三菱食品株式会社 加藤産業株式会社 株式会社日本アクセス 藤徳物産株式会社 イオンリテール株式会社
主 要 取 引 銀 行	株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行	株式会社百十四銀行 株式会社中国銀行 株式会社日本政策投資銀行 株式会社三井住友銀行	株式会社中国銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社新生銀行
大 株 主 及 び 持 株 比 率	イオン 58.12% マックスバリュ西日本グループ社員持株会 2.74% 丸魚水産株式会社 1.80% 株式会社コックス 1.62% 加藤産業株式会社 1.23%	イオン 100%	イオン 100%

	新光商事株式会社 1.22%		
	イオンフードサプライ株式会社 0.91%		
	ミニストップ株式会社 0.91%		
	イオンフィナンシャルサービス株式会社 0.90%		
	宮本 美枝 0.79%		

当事会社間の関係

資 本 関 係	記載すべき事項はございません。
人 的 関 係	MV西日本の代表取締役1名がマルナカ及び山陽マルナカの取締役を兼務、マルナカの代表取締役1名が山陽マルナカの子会社取締役を兼務、MV西日本の従業員1名が山陽マルナカに出向しております。また、山陽マルナカの代表取締役1名は2018年5月25日よりマルナカの子会社取締役を兼務しております。
取 引 関 係	マルナカは、山陽マルナカの子会社の銀行借入に対する債務被保証を行っております。
関連当事者への該当状況	MV西日本、マルナカ及び山陽マルナカはいずれもイオンの子会社であり、関連当事者に該当いたします。

(注1) 2018年2月28日現在。ただし、特記しているものを除きます。

(注2) 従業員数には、パートタイマーの期中平均人数を含めておりません。

(2) 最近3年間の経営成績及び財政状態

① MV西日本(連結)

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
連 結 純 資 産	46,134 百万円	48,250 百万円	50,589 百万円
連 結 総 資 産	93,368 百万円	94,736 百万円	98,104 百万円
1株当たり連結純資産	1,756.94 円	1,837.10 円	1,925.04 円
連 結 売 上 高	269,813 百万円	272,087 百万円	270,169 百万円
連 結 営 業 利 益	6,066 百万円	6,431 百万円	4,702 百万円
連 結 経 常 利 益	6,276 百万円	6,687 百万円	4,978 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,503 百万円	3,268 百万円	2,467 百万円
1株当たり連結当期純利益	95.62 円	124.66 円	94.06 円
1株当たり配当金	35.00 円	38.00 円	38.00 円

② マルナカ(単体)

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
純 資 産	40,643 百万円	41,596 百万円	42,622 百万円
総 資 産	110,326 百万円	105,503 百万円	102,959 百万円
1株当たり純資産	292,445.23 円	299,303.97 円	306,684.61 円
売 上 高	175,707 百万円	177,894 百万円	178,634 百万円

営業利益	4,111 百万円	4,012 百万円	2,707 百万円
経常利益	4,167 百万円	4,135 百万円	3,002 百万円
当期純利益	380 百万円	1,438 百万円	925 百万円
1株当たり当期純利益	2,737.89 円	10,354.02 円	6,657.74 円

③ 山陽マルナカ（単体）

決算期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期
純資産	8,886 百万円	9,941 百万円	11,088 百万円
総資産	76,285 百万円	75,132 百万円	73,770 百万円
1株当たり純資産	490,972 円	549,234 円	612,651 円
売上高	118,364 百万円	120,019 百万円	122,872 百万円
営業利益	2,348 百万円	2,469 百万円	2,798 百万円
経常利益	2,058 百万円	2,266 百万円	2,667 百万円
当期純利益	1,145 百万円	1,124 百万円	1,127 百万円
1株当たり当期純利益	63,289.57 円	62,102.08 円	62,280.98 円

4. 本経営統合後の株式交換完全親会社の状況

本経営統合後の株式交換完全親会社の商号や本店所在地、代表者及び役員の構成、組織等につきましては、今後、MV西日本、マルナカ及び山陽マルナカで協議の上決定いたします。

5. 統合準備委員会及び分科会

本基本合意書締結後速やかに、本経営統合に関して集中的に協議を行うために統合準備委員会の設置、及び、人事、物流、商品仕入、情報システム、経営戦略、店舗開発、ブランディング、財務経理、総務の各分野において分科会を設置し、本経営統合後の体制、統合効果等を検討してまいります。

6. 今後の見通し

本経営統合の効力発生は2019年3月1日を予定しているため、本経営統合がMV西日本の当期の業績に与える影響は軽微なもの見込んでおります。また、次期業績におきましては、確定次第お知らせいたします。

以上

（参考）MV西日本の当期連結業績予想（2018年4月11日公表分）及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期業績予想 (2019年2月期)	283,000 百万円	5,500 百万円	5,700 百万円	2,600 百万円
前期実績 (2018年2月期)	276,313 百万円	4,702 百万円	4,978 百万円	2,467 百万円

別紙：近畿店舗譲渡の対象店舗

1. 株式会社ダイエーに譲渡する山陽マルナカの近畿エリア店舗（14 店舗）

（大阪府）住之江店、東大阪店、泉大津店、泉佐野店、大東寺川店、堺店、和泉店、貝塚店、三国店、
此花店、摂津店

（兵庫県）西宮店、新在家店

（奈良県）富雄南店

2. 株式会社光洋に譲渡するMV西日本の近畿エリア店舗（8 店舗）

（兵庫県）星陵台店、西宮浜町店、西宮上田店、長田南店、須磨海浜公園駅前店、東難波店、
金楽寺店、塩屋北店